

北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん
Mail Magazine VOL. 75 2015/12/2

「北方かわらばん」は、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所（旧・北海道立北方建築総合研究所）が発行しているメールマガジンです。
このメールが不要な方は、お手数ですが【管理者からのお知らせ】に掲載しているメールアドレスにご連絡ください。このメールアドレスは配信専用のため返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

=====
今月号のトピックス
=====

第75号の内容はこちらです。

■北海道科学大・道総研による協働セミナー開催のお知らせ
「北国の豊かな暮らしをつくる」～住まいと雪とエネルギーを考えてみませんか～

- 最近の研究所の動き
 - 平成27年北方建築総合研究所研究成果報告会を開催しました。
 - 道総研フォーラム「富良野圏域の分散型エネルギーの明日を考える」を開催しました。
 - 空き家バンクサミットin北海道に参加しました。
 - 構造計算適合性判定センターから
 - 第1四半期の業務報告

=====
北海道科学大学と北海道立総合研究機構による協働セミナーを開催します
北国の豊かな暮らしをつくる
～住まいと雪とエネルギーを考えてみませんか～
=====
これからの北国の住宅や暮らしについて、講師と来場者の方々と楽しく語り合うセミナーを開催します。

日時：平成27年12月9日（水）15：00～17：30
会場：北海道薬科大学教養講義棟 A106講義室
札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
北海道科学大学敷地内
（参加無料）

北海道科学大学と北方建築総合研究所の5人のスタッフが講師となり、一般道民の方々を対象に、最近の北海道の住宅事情、雪と安全に付き合う方法、快適な室内環境、エネルギーを上手に使う設備等について、講師が分かり易く講演します。

皆さんとの討論の時間もありますので、ご自宅でのこれからの暮らし等、ざっくばらんに話してみませんか。

チラシ、申込フォームなどはこちらから。

↓↓↓

http://www.hus.ac.jp/sp/hit_topics/2015/11/201511091442.html

(企画課 北谷)

＝＝＝
最近の研究所の動き
＝＝＝

■平成27年北方建築総合研究所研究成果報告会を開催しました。

平成27年11月6日(金)札幌のかでるホールにおいて平成27年北方建築総合研究所研究成果報告会を開催しました。

本報告会では、第1部で「研究報告」として近年の主な研究成果や現在取り組んでいる各分野の研究展開など、26年度に終了した研究課題を中心に地域研究部・環境研究部・構造判定部から12の課題についてご報告しました。

また第2部では「特別報告」として、北総研副所長鈴木から、当所が基準策定等に関わっている国の住宅・建築物の省エネ基準義務化に向けた施策の最新動向を報告するとともに、北海道が進める「きた住まいる」に関し北海道建築指導課から情報提供を行ったところです。

当日は道内外の関係企業や大学、道・市町村・関係機関の担当者など193名の方が来場され、質疑などを交え熱心に聴講されていました。

また、ロビーでは各研究成果のポスターや民間企業との共同研究により開発した高断熱の住宅用サッシの模型などを展示し、休憩時間は多くの方にご覧いただくことができました。

今後とも、北総研の研究成果をより広く知っていただくため、普及推進に努めてまいります。

(企画課 盛永)

■道総研フォーラム「富良野圏域の分散型エネルギーの明日を考える」を開催しました。

11月19日(木)に、富良野市役所において標記フォーラムを開催しました。フォーラムでは、道総研理事長の基調講演、戦略研究チームからの報告のほか、富良野圏域で活動されている4名の方々に「小水力発電」「地中熱利用」「森林資源のエネルギー利用」「ごみのリサイクル」をテーマとして、取り組み紹介をいただきました。

当日は、テーマに関連する事業者や、一般住民の方々など計135名に参加をいただき、盛況での開催となりました。そして、フォーラムの最後に行われた討論や、アンケートでいただいたご意見からも、分散型エネルギー利用に向けた機運の高まりや、道総研への期待を感じることができました。

道総研の戦略研究「地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築」（代表機関：北総研）は平成26年度からの5年計画で実施しています。今回のフォーラムを機に、これまでの活動に加え、市民・民間との協働による新たなフェーズに向けて可能性を探っていきたいと考えています。

（環境G 立松）

■空き家バンクサミットin北海道に参加しました。

11月12日(木)～13日(金)の2日間、倶知安町などで開催された「空き家バンクサミット2015in北海道」に、北方建築総合研究所からも出展、参加しました。（主催：しりべし空き家BANK協議会・後志総合振興局）

サミットでは「空き家」の活用方策について、先進事例（NPO法人尾道空き家再生プロジェクト〈広島県尾道市〉、NPO法人空き家コンシェルジュ〈奈良県〉、NPO法人つるおかランド・バンク〈山形県鶴岡市〉、しりべし空き家BANK〈北海道後志地域〉）を紹介する講演が行われた後、ポスターセッションで情報交換が行われました。北総研からは、地域研究部のポスター「空き家の有効活用に向けた住み替え促進による戦略的まちづくり」「道内の空き家バンク実態と不動産業者の分布」を出展し、多くの参加者の関心を集めたところです。後半は、空き家の活用とまちづくりについてのパネルディスカッションが行われました。地域研究部長松村がコーディネーターを務め、各講師がパネリストとして、空き家バンク運営に関する今後の課題や資金面で苦慮する点などについて、様々な意見交換が展開されました。翌日のエクスカーションも晴天の中、ニセコ駅前中央倉庫群の再活用事例や旧大滝中学校の体育館を活用したニセコアドベンチャーセンターの見学など興味深い事例を多くの参加者が熱心に見学、有意義なサミットとなりました。

ポスターセッション会場の様子などこちらからご覧になれます。

↓↓↓

<http://www.shiribeshi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/okk/ksd/summit2015.htm>

（企画課 盛永）

■【構造計算適合性判定センターから】

10月の判定業務

受付	3件（3棟）
結果通知	8件（9棟）

10月の判定依頼は、工場・倉庫等2件、共同住宅1件でした。

総判定日数（受付から結果通知までの期間）の平均日数は15.2日（前月比-3日程度）、実判定日数（設計者の修正期間を除く実際の審査期間）の平均日数は6.6日（前月比+1日程度）でした。10月の依頼件数は昨年度と比較すると3割程度（図書付事前相談を含めると7割程度）となっています。

判定センターでは、構造計算適合性判定の適格な判定とともに建築確認の円滑化に寄与し、建築主や設計者等のご支持をいただけますよう、日々、業務改善に取り組んでいるところであり、当センターにおける判定日数の現状や図書

付事前相談（事前審査）などの状況をホームページに新着情報（New）として掲載いたしましたので、お知らせいたします。

なお6月号にも掲載いたしました但ホームページのアドレスは以下に更新されておりますので再度ご案内させていただきます。

ホームページアドレス

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/organization/nrbc.html>

（構造判定G 本間）

■【四半期業務報告】

平成27年7～9月の受付件数

□依頼試験（担当：性能評価課）

依頼試験	14件
設備使用	3件
性能評価	1件

□施設見学（担当：企画課）

件数	14件
人数	83名

□技術相談（担当：企画課）

件数	53件
----	-----

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

